

インド亜大陸最大の遺跡『幻の都』ハンピの旅



ご旅行期間とご旅行代金

2018年**11月25日(日)発**~**12月 3日(月)着**…**¥335,000**

2019年 **2月17日(日)発**~ **2月25日(月)着**…**¥328,000**

一人部屋利用追加料金 ¥38,000

ハンピ・バザール地区(寺院地区)

◆ヘーマクータの丘

この丘は、ヴィジャヤナガル王国の都が置かれる前から、土着の神が祀られる祈りの場でした。そのパンバー女神はのちにシヴァ神の夫人ヴィルーパークシャであることされ、ヒンドゥー寺院となりました。ジャイナ教も保護した王により、ヴィジャヤナガル王国の時代にはジャイナ教寺院としても使用されています。**一枚岩から彫られた寺院**は素朴さの中にも、長い年月の間の祈りの数に相当する力強さを感じられます。

◆ヴィルーパークシャ寺院

南インド建築の特徴である、**階段状になった塔門(ゴプラム)の美しさ**と高さ(50m)に目を見張ります。15世紀以来、何度も修復が繰り返され、現在も遠くからこの地を訪ねる人が少なくない神聖な祈りの場です。

◆ヴィッタラ寺院

ハンピ遺跡のハイライトです。彫刻の美しさから**ヴィジャヤナガル芸術の最高傑作**といわれ、また「**音楽を奏でる寺院**」として、神秘性も持ち合わせています。この場所では、結婚式の後の盛大な披露宴など、数々の祝い事が行われました。「音楽を奏でる」とは、支柱を軽々とたたくとその振動が寺院全体に広がり、支柱に耳を当てるとそこからは指の動きをも感じられる音色が伝わるためです。ガルダの像が祀られた寺院の内庭には、**石造りのガルダの荷馬車**があります。到底動きそうもない石の車は、向きを変える時、実際に車輪が動いたと言われています。壁、支柱、天井のどこを見てもその美しい彫刻・レリーフの数々に圧倒されます。綿花と香辛料の交易が盛んだった**ヴィジャヤナガル王国**には東西から商人たちがこの地を訪れました。レリーフの中には中国商人の姿や、商人たちの足であった動物たちの姿も見られます。

ハンピ・カマラープラム地区(王宮地区)

この地区は、美しい石壁に囲まれています。すべてはあたり一面からの巨石を切断して造り上げたものです。チーク材で建てられていた宮殿は、土台のみが残されています。

◆ロータス・マハル

ヒンドゥー様式とイスラム建築のドーム型アーチを融合した**女性的な繊細な造りの宮殿**です。涼しい風をもたらすために天井部分にパイプを通し、地上からの引き上げた水を流す天然のエア・コンディションを作りあげた画期的な建築のひとつです。遺跡の名前、蓮(ロータス)はドーム型天井を見上げるとその中央に蓮のつぼみが彫刻されていることに由来します。暑さが厳しい日々、女性たちはこの憩いの場集まり、ゆったりとした時を過ごしていました。



階段井戸(ハンピ)

ハンピ遺跡 が眠るカルナータカ州は、インドの南西に位置し、西はアラビア海に面しています。カルナータカ州のアラビア海側には、穏やかな砂浜が広がり、内陸に広がる高原地帯では米、バナナ、サトウキビなど多くの作物が栽培されています。

昔から、多くの文化、宗教、王国が**カルナータカ州**を通り過ぎていきました。紀元前3世紀、インド最初の大帝国マウリヤ朝チャンドラグプタ王がジャイナ教に改宗したのちに隠居した、インド最古の巡礼地もカルナータカ州にあり、州北部にはいくつもの初期ヒンドゥー寺院も設立されました。チョーラ朝やガンガ朝といった歴代の王朝もこの地で繁栄し、中でも11~14世紀に繁栄した**ホイサラ朝**は、美しい建築群を残したことで有名です。

南インドはデリーの中央支配の下にあった北インドと違い、地方権力の群雄割拠が続いていました。11世紀から本格的にはじまったイスラム軍のインドへの侵攻は、北インドにおけるデリー・イスラム諸王朝の繁栄をもたらしました。14世紀にはその勢力を南へ拡大し、南インドの雄・ホイサラ朝はデカン高原で最初の**イスラム王朝バフマニー朝**に破れてしまいます。分裂状態にあった南インドは、イスラム軍に対抗するために**ヴィジャヤナガル王国**の元に結集し、イスラム教徒との戦いを繰り返しました。1336年にヴィジャヤナガル王国が、その昔、**土着の女神「パンバー女神」**が祀られ、巡礼の地であった土地に建設した都が**ハンピ**です。

当初は劣勢にあったヴィジャヤナガル王国ですが、バフマニー朝の内部抗争のおかげで国力を回復させると、カルナータカの大地の恵みとポルトガルによる航路発見以来の香辛料貿易がもたらす富により、南インドを一括する大王国へと繁栄していきました。永きにわたる暗黒の時代を生きたヴィジャヤナガル王国は、イスラム教に対するヒンドゥー教徒最後の砦として「**インド・勝利の王国**」になったのです。

ハンピ遺跡には、約25平方Kmの土地に**約40の大遺跡**が点在しています。ハンピの名は、土着の女神の名でもあり、この町の北側を流れるトゥンガバトラー川の古い名でもあるハンバーからきています。ヒンドゥー教の勝利の王国・ハンピも最後はイスラム諸王国との戦いに敗れ、廃墟となり、歴史から姿を消します。ハンピの大地には、周辺の緑豊かな風景の中で異様にも感じられる**巨大な岩がいたる所に散乱**しています。巨石の数々は、インドの大叙事詩「ラーマヤナ」の主人公であるラーマ王子の妻シータ姫を助けた猿将軍ハヌマーンが、悪魔との戦いの中で敵に向かって投げた石のつぶても言われています。**一種独特な神話の世界**をも感じさせるハンピ遺跡は、1981年まで忘れ去られた土地でした。今明らかになった王国の姿は、華やいた彫刻の中に真の力強さも感じさせてくれます。

ご旅行条件

- 募集人員／18名様限定
- 最少催行人数／10名様
- 全食事付／朝食7回・昼食7回・夕食6回
- 旅券残存期間／6ヶ月以上
- 査証用写真／1枚要(5cm×5cm〔背景白の証明写真〕)
- インド・スリランカ査証料・同取得手数料／¥9,800(別途必要)
- 成田空港使用料／¥2,610(別途必要)
- 旅行代金には、**海外の空港税、出国税、航空保安税が含まれております。**
- 弊社では**燃油サーチャージ**を別途徴収いたしません。
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- トランク往復無料託送サービス〔ご自宅~空港~ご自宅〕
- 冬物コート、冬物靴等、無料お預かりサービス〔千歳空港発着限定〕
- ※ビジネスクラス利用追加料金:¥220,000(座席数に限りがございますので、お早めにお問合せください)。
- ※成田発着:¥10,000引き
- ※大阪・中部・福岡発着:千歳発着と同一料金

ご利用予定ホテル

- バンガロール／ゲートウェイホテル・オン・レジデンシーロード、ヒンドゥスタン、リガーリス
- ハンピ／クラークス・イン、ロイヤル・オーキッド、マリーギ、ハッサン・アショーク
- バーダーミ／バーダーミ・コート
- ハイダラーバード／ベストウェスタン・ホテル・アムルーサキャッスル、フォーチュン・パーク、キイズ、クオリティ・イン、ハンブシャーププラザ

日次	都市名	スケジュールと見どころ／お食事と宿泊地
1	千歳 成田 コロンボ バンガロール	スーツケース無料託送サービス ご自宅~空港 ■冬物無料お預かりサービス ■朝 、千歳空港より、国内線にて成田へ。 ■成田 空港より、スリランカ航空にて、コロンボで乗継ぎ、インド南部カルナータカ州の州都 バンガロール へ〔11:20発／20:10着〕。 バンガロールに連泊 します。 〔バンガロール泊〕<input type="checkbox"/>田田
	バンガロール	■午前 、「 庭園都市 」バンガロール市内観光(“赤い庭園”ラールバグ植物園、城塞とティープー・スルタン宮殿)。 ■昼食 は ターリー でお楽しみください。 ■午後 、まるでウィンザー城のような バンガロール宮殿 を見学します。 〔バンガロール泊〕<input type="checkbox"/>田田
3	バンガロール ハンピ	■終日 、専用バスにて、カルナータカ州を北上し、14~16世紀の「 時の止まった幻の都 」ハンピ大遺跡へ〔390km／8時間30分〕。 ハンピに連泊 です。 〔ハンピ泊〕<input type="checkbox"/>田田
4	ハンピ [王宮地区]	■終日 、ヒンドゥー王朝として、南インドの全域にわたって繁栄を極めた14世紀のヴィジャヤナガル王国の大都市遺跡 世界遺産 ハンピ の観光です。 音響の素晴らしさ も有名です。 ■午前 、美しい石壁に囲まれた ハンピ王宮地区 〔カマラープラム地区〕観光へご案内します。王妃の浴場、象舎、 ロータス・マハル (蓮の宮殿)などをご紹介いたします。特に王室礼拝堂であった ハザーラ・ラーマチャンドラ寺院 の無数のレリーフには驚かされることでしょう。 ■午後 、 ハンピ寺院地区 〔バザール地区〕へご案内します。10世紀のピラミッド型屋根寺院がある ヘーマクータの丘 、高さ50mのゴプラムを持つ ヴィルーパークシャ寺院 、ヴィジャヤナガル芸術の最高傑作 ヴィッタラ寺院 を見学します。 ■その後 、渡し舟を利用し、トゥンガバトラー川を渡り、 アネゴンディ要塞 へ。そして、 ハンピ遺跡の全景 が眺望できる ハヌマン寺院の山 に登り、 幻の都市・ハンピの夕陽 をご覧ください。 〔ハンピ泊〕<input type="checkbox"/>田田
	ハンピ アイホーレ	■午前 、、彫刻芸術が素晴らしい アイホーレ遺跡 へ。アイホーレは、初期ヒンドゥー様式のさまざまな寺院が残るチャールキヤ朝の都市遺跡です。特に仏教寺院を模した ドルガール寺院の回廊の壁面彫刻 は精緻を極めています。 ■その後 、ピラミッド型の南方様式と砲弾型の北方様式のヒンドゥー教寺院が混在する 世界遺産 パッタダカル遺跡 を訪れます。パッタダカルは、チャールキヤ朝の第2の都で、 ヴィールパークシャ寺院 にはラーマヤナ物語やマハーバーラタ物語の、戦場や恋人たちの様子など美しい彫刻が数多く残っています。 デカン高原の「覇者の都」 です。 ■午後 、中世ヒンドゥー建築揺籃の地であった バーダーミ へ。着後、 バーダーミの石窟寺院群 を見学します。バーダーミは、 目がさめるような赤い砂岩の山の麓 に広がる6世紀のチャールキヤ朝の都で、踊るシヴァ神などヒンドゥー教の神々の 彫刻が素晴らしい石窟寺院群 です。 〔バーダーミ泊〕<input type="checkbox"/>田田
5	バーダーミ	■終日 、専用バスにて、アーンドラ・プラデーシュ州の州都 ハイダラーバード へ〔430km／9時間30分〕。 ハイダラーバードにも連泊 いたします。 〔ハイダラーバード泊〕<input type="checkbox"/>田田
6	ハイダラーバード	■終日 、 ハイダラーバード市内観光 (16世紀建立の ゴールコンダ城 、サーラール・ジャング博物館、クツゥブ・シャーヒー朝の王廟群、フセインサーガル湖の大仏立像など)。 ■昼食 には、 中華料理 を、夕食には タンドリー・チキン をご用意しました。 〔ハイダラーバード泊〕<input type="checkbox"/>田田
	ハイダラーバード コロンボ	■午前 、スリランカ航空にて、スリランカのコロンボへ〔10:15発／12:10着〕。 ■フルーツたっぷりの昼食 後、キャラニヤにて、釈迦も訪れたとされる マハーラジャ・ヴィハハラ を見学いたします。 ■夕刻 、スリランカ航空にて帰国の途へ〔19:15発〕。 〔機中泊〕<input type="checkbox"/>田田
8	ハイダラーバード コロンボ (キャラニヤ)	■朝 、成田空港到着後、入国手続き〔07:20着〕。 ■昼 、国内線にて千歳へ。午後、千歳空港到着後、解散。 スーツケース無料託送サービス 空港~ご自宅 田田<input type="checkbox"/>
9	成田 千歳	